

第 37 回 ASE 研究会実施報告

中島 研吾

東京大学情報基盤センター

東京大学情報基盤センターASE 研究会 (Advanced Supercomputing Environment) は内外からの講演者を招いて不定期に開催している。東京大学情報基盤センターは 2016 年よりドイツ研究振興協会 (Deutsche Forschungsgemeinschaft, DFG) SPPEXA¹プログラム (German Priority Programme 1648, Software for Exascale Computing) の一環として実施されている, ESSEX-II²プロジェクト (Equipping Sparse Solvers for Exascale) に参加している。

2018 年 10 月 29 日(月)に開催した第 37 回 ASE 研究会³では, ESSEX-II プロジェクトの Co-PI である Achim Basermann 博士(Deutsches Zentrum für Luft- und Raumfahrt (DLR, German Aerospace Center)), 及び同じ SPPEXA プログラム EXASTEEL プロジェクトの Leading-PI である Axel Klawonn 教授 (University of Cologne, Germany)のお二人をお招きして, 各プロジェクトの成果の概要を中心に, 大規模シミュレーション向けのアルゴリズムの最新動向についてご講演いただいた他, 東大情報基盤センターの活動についても紹介した。学内外から合計 12 名の出席者があり, 活発な議論が行われた。

表 1 プログラム

時間帯	講演者	題目
15:30 - 15:35	Kengo Nakajima (The University of Tokyo, Japan)	Welcome
15:35 - 16:20	Achim Basermann (Deutsches Zentrum für Luft- und Raumfahrt (DLR, German Aerospace Center))	ESSEX-II: Equipping Sparse Solvers for Exascale
16:20 - 16:50	Kengo Nakajima (The University of Tokyo, Japan)	ppOpen-HPC/pK-Open-HPC
17:00 - 17:45	Axel Klawonn (University of Cologne, Germany)	EXASTEEL: Extreme Scale Computing for New Materials
17:45 - 17:50	Kengo Nakajima (The University of Tokyo, Japan)	Closing

¹ <http://www.sppexa.de/>

² <https://blogs.fau.de/essex/>

³ <https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/events/ase/37/37.php>